

令和3年度(2021年度)放課後活動推進協議会

障がいのある子どもや  
特別な支援を要する子どもへの対応

令和3年(2021年)6月25日(金)

渡島教育局義務教育指導班

# 内容

- 1 はじめに
- 2 発達障がいのある子どもの理解
- 3 指導・支援について
- 4 まとめ

# 内容

1 はじめに

2 発達障がいのある子どもの理解

3 指導・支援について

4 まとめ

(令和元年5月1日現在)

## 義務教育段階の全児童生徒数

平成21年度  
1,074万人



令和元年度  
973万人

### 特別支援学校

視覚障害 知的障害 病弱・身体虚弱  
聴覚障害 肢体不自由

### 小学校・中学校

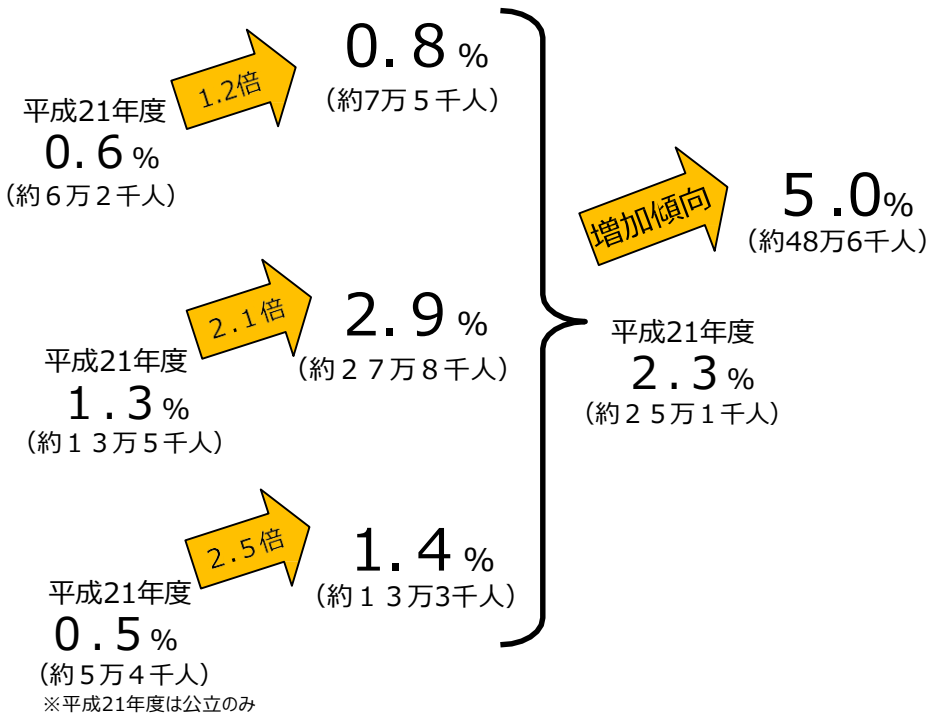
#### 特別支援学級

視覚障害 肢体不自由 自閉症・情緒障害  
聴覚障害 病弱・身体虚弱  
知的障害 言語障害

#### 通常の学級

通級による指導

視覚障害 肢体不自由 自閉症  
聴覚障害 病弱・身体虚弱 学習障害 (LD)  
言語障害 情緒障害 注意欠陥多動性障害 (ADHD)



発達障害 (LD・ADHD・高機能自閉症等) の可能性のある児童生徒 : 6.5%程度※の在籍率  
 ※この数値は、平成24年に文部科学省が行った調査において、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づくものであり、医師の診断によるものではない。

# 内容

- 1 はじめに
- 2 発達障がいのある子どもの理解
- 3 指導・支援について
- 4 まとめ

## 演習④

これは何と書いてありますか？

あるみかんのうえにあるみかん

？



# 発達障がいの概要

## それぞれの障害の特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

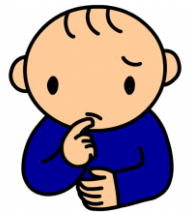
※このほか、トゥレット症候群や吃音（症）なども発達障害に含まれます。



「困った子・・・  
どうにかしなければ」

<苦手さがある → 自信がない、自分が好きになれない>

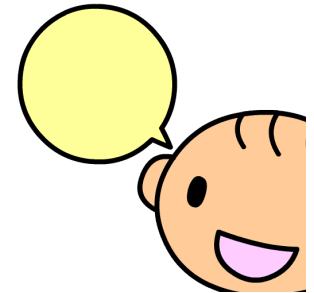
- 一方的に改善しようとする、気持ち離れる
- 支援者から、関わり方を変えてみる
- 支援者から、環境を整えてみる
- 「先生がこんなふうにしてくれたら、なんとかなるかも」





# 本人の思いを読み取る方法の例

## 「聞き取りシート」の作成



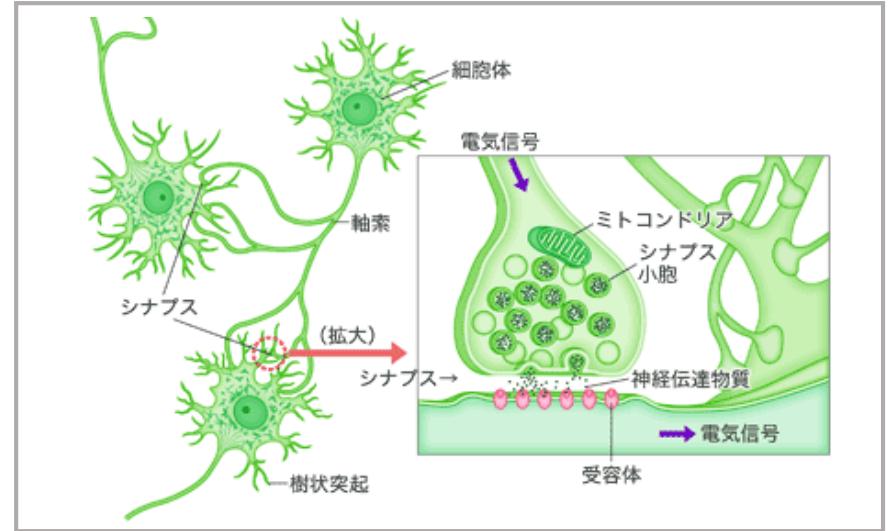
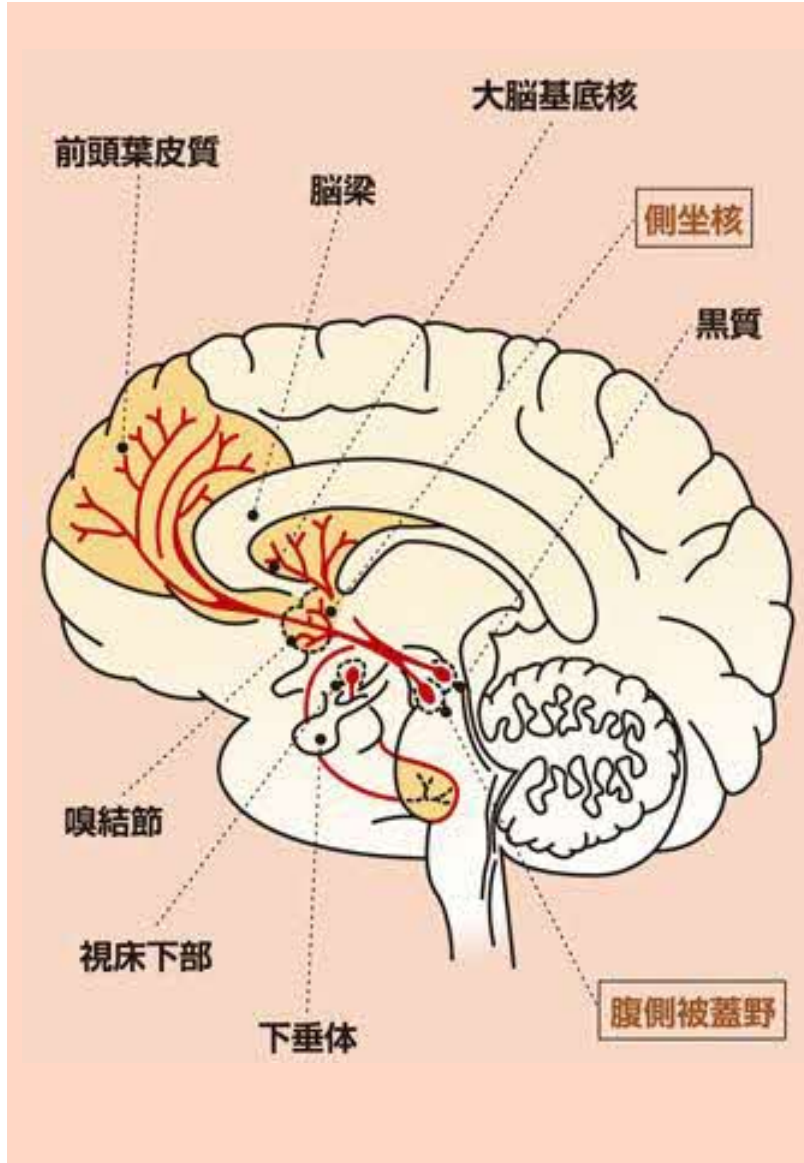
聞き取りシート
好きなこと
嫌いなこと
休みの日にしていること
大人になったら、やってみたいこと
授業中、考えていること
宿題について
テストについて
試してみたい勉強の仕方
その他

- 好きなこと、嫌いなこと
- 休みの日にしていること
- 大人になったら、やってみたいこと
- 授業中、考えていること
- 宿題について
- テストについて
- 試してみたい勉強の仕方
- その他

## 子どもA君（小2）から聞き取った内容

- バレーボール、算数が好き。
- 嫌いな教科は、国語、特に漢字。平仮名と片仮名が混同してしまう。
- ほかの行を隠して1行ずつ読む方法は、読みにくい。
- 休みの日はゲームをしていることが多い。
- 文字は大きい方が読みやすい。
- 先生が早口で、何を言っているのか分からないときが結構ある。分からない問題があると困る。

# 褒めること



脳が喜びを感じる



中脳から前頭葉にドーパミンが放射される



脳は「快感・快樂」を再現しようとする



脳はより効率的にドーパミンを分泌させようとニューロンをつなぎ変え、新たなシナプスができる



快感をもたらした行動を繰り返すことで、シナプスは強化される

# 子どもの実態や状況に合った褒め方を見つけてみましょう。

「勉強頑張ってえらかったね。また頑張ってね」と褒めたのに。次の時間はやる気が見られなかった。せっかく褒めたのに。



## 例えば

何を褒められたか分からないかもしれません

先生は「勉強頑張ったね」という言葉で、「プリントを最後まで書いたこと」や「指示をよく聞いていたこと」などたくさんのことを伝えたのですが、言葉通りに受け取ってしまう場合は、何のことを褒められたのか十分伝わっていないことが考えられます。



この場合は、具体的な言葉で褒めると分かりやすいかもしれません。

### 褒め方例

「プリントの答えを全部書いてえらかったね」  
「先生が言った教科書のページをすぐ開いたね」



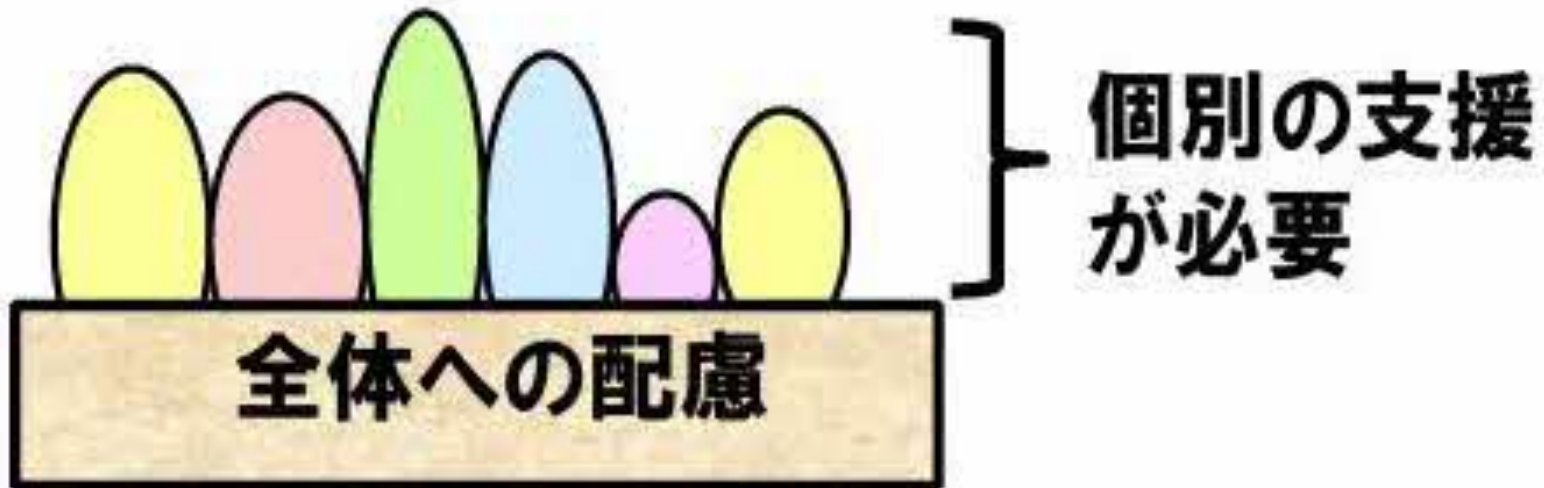
適切な褒め方ができたかどうかは、子どもの行動で評価します。  
先生が褒めたことを子どもが一人で繰り返そうとしていたら、先生の褒め方がその子どもの実態や状況に合っていたことになります。  
その子どもに合った褒め方が見付かるよう、工夫・改善を重ねることが大切です。

# 内容

- 1 はじめに
- 2 発達障がいのある子どもの理解
- 3 指導・支援について
- 4 まとめ

# 特別支援教育の視点を生かした実践の考え方①

「全体への配慮」と「個別の支援」に注目



# 特別支援教育の視点を生かした実践の考え方②

「全体への配慮」が多いと・・・

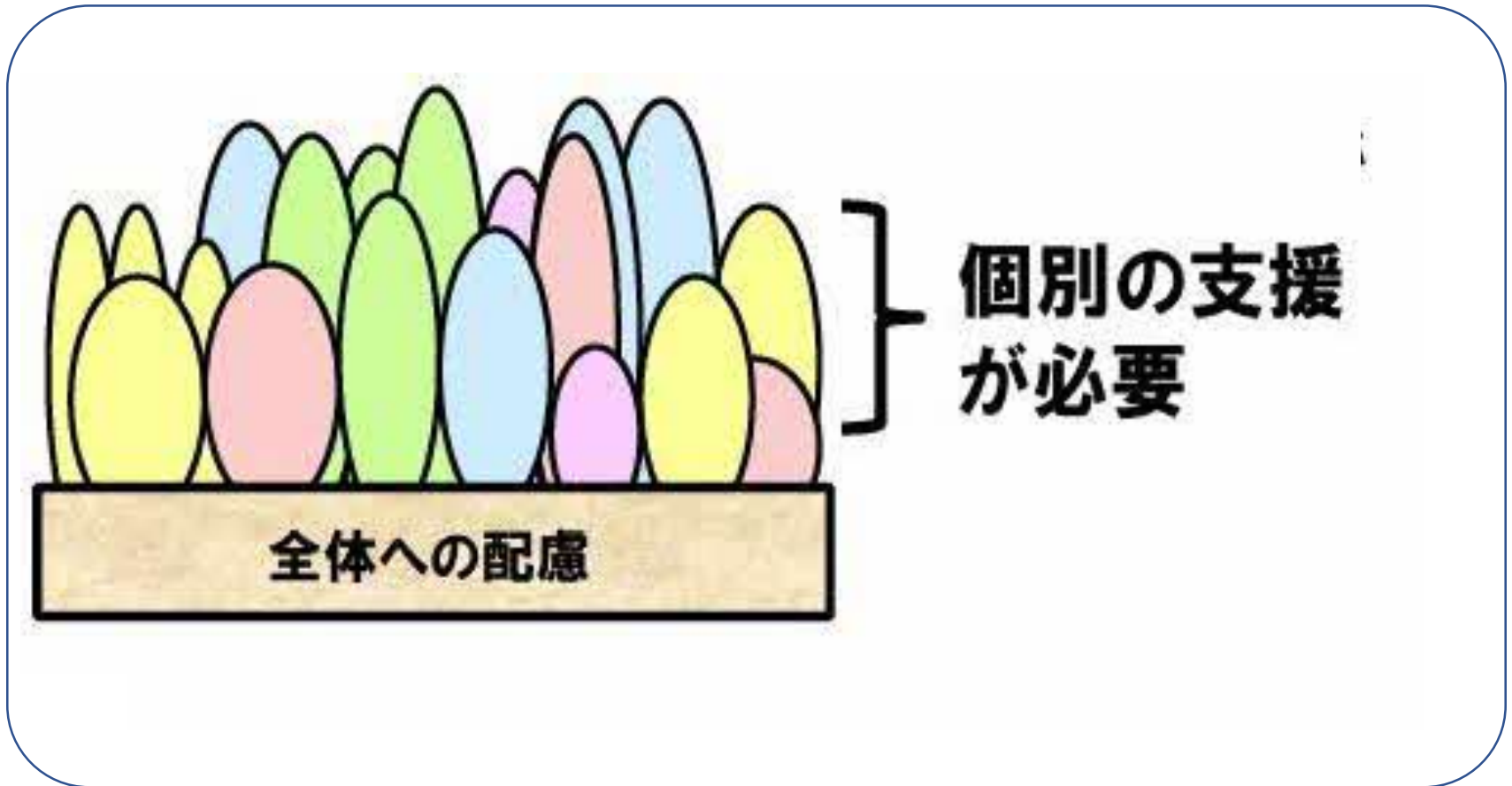


全体への配慮

個別の支援が  
必要

# 特別支援教育の視点を生かした実践の考え方③

「全体への配慮」が少ないと・・・

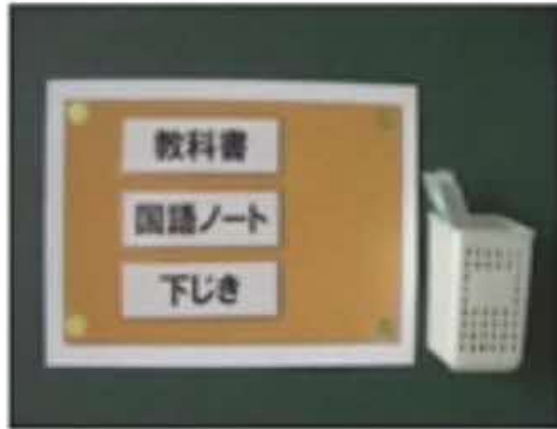




# 場所・環境を整える



# きまいを視覚的に示す



# 指示は明確にする

- 目標を絞る
- 指示は分かりやすくする
- 質問は子どもの特性に合わせて



聞くことが苦手、視覚情報に強いなどの特性に寄り添って伝える。

- ・子どもの視線の中に入って言葉をかける。
- ・言葉と視覚情報を併用する。
- ・短い言葉で具体的、肯定的に伝える。

# 好意に満ちた言葉がけ

	言葉がけ	好意に満ちた言葉がけ
例 1	「A君、走らないでね！」	
例 2	「静かにしなさい！」	
例 3	「またA君か、誰がけがしたら、どうするの。危ないって言ったでしょ！」	
例 4	「教室のごみを拾って、ごみ箱に捨てたんだね。えらいね。」	

# 内容

- 1 はじめに
- 2 発達障がいのある子どもの理解
- 3 指導・支援について
- 4 まとめ

～これから取り組みたいこと～


- 心情を受け止め、安心感を与える
- 褒めて、主体的な取組を引き出す